

図書だより 6月

田原本町立北中学校
令和3年6月
第3号

ブックトークを行いました！

今年度も田原本町立図書館から司書の方に来ていただき、ブックトークをしていただきました。ブックトークというのは、あるテーマに沿って本を紹介するものです。1年生では「読書の楽しみ」、2年生では「働くことの意義」というテーマでブックトークを実施して頂きました。学年に応じた内容で、それぞれに手応えを感じてくれたようです。紹介していただいた本の中から一冊でも多く手に取り、そして読んでくれることを願っています。

3年生は授業数の関係上、ブックトークを実施することはできませんが、生涯を通じて読書に親しみ、読書から多くのことを学び取ってほしいと思います。

2年生の様子



2年生に紹介して下さった本



『学校のふたふた』矢崎 存美 (光文社)
中学教師になって五年の美佐子は、校内のスクールカウンセリング担当に任命される。新年度から新しいカウンセラーを迎えることになったのだが、現れたその人は、なんとふたのぬいぐるみだった!その名は山崎ふたふた。彼が中庭でカウンセリングを始めると、生徒たちの強張った心が、ゆっくりと、ほぐれてゆく。ストレスもお悩みも、ふたふた先生にお任せあれ!



『なぜ僕らは働くのか』佳奈 著・池上彰 監修 (学研プラス)
この本の主人公・ハヤトは将来に悩む中学生。そんなハヤトがある日、まだ完成していない一冊の本を読むようになります。各章、そんなストーリーマンガが導入となっており、主人公が読む本を読者も読むという展開で本書は構成されています。日々を一生懸命に過ごしながら、世の中や仕事のことについて知り、成長する主人公。そんな等身大の主人公に自分を重ねることで、スムーズに本の内容が心に響いていきます。



『ここで負けてしまっごめんな』岩崎 夏海 (廣済堂出版)
グラウンド脇での農作業をするのがやっとの投手が強豪校のエースになるまで、父が甲子園で優勝した有名な選手で息子ならではの辛さ、など、野球だけにとどまらない、失敗や挫折を乗り越えた話、家族や友情の話がここにあります。



『吹奏楽部アナザー』オザワ部長 (ベストセラーズ)
本書では、高校吹奏楽の頂点を目指して毎日ひたむきに努力しながら、彼らが胸に秘めている「コトバ」の数々を切り口に、その青春の物語を引き出しました。すると、通常の取材とは少し違った物語「アナザーストーリー」が浮かび上がってきました。ぜひ中高生から大人までが共感できる、純粋でまぶしい「コトバ」と「ストーリー」をお読みください。

【その他の本】



すべて借りられます!



1年生の様子

1年生は図書室を利用してくれる人も多く、日頃からたくさん本を借りてくれています。でも、本を買ったり借りたりするときは、どうしても自分の好みに偏りがちになりませんか。今回のブックトークでは、普段なら絶対に手に取ることのない本についても知ることができ、読書の幅を広げるチャンスです。今回紹介していただいた本をはじめ、これからもたくさん本を読んでくださいね！

1組



2組



1年生に紹介して下さった本



『図書館の殺人 裏染シリーズ』青崎 有吾（東京創元社）

期末試験中のどこか落ち着かない、ざわついた雰囲気のある風ヶ丘高校。試験勉強をしようと学校最寄りの図書館に向かった袴田柚乃は、殺人事件捜査のアドバイザーとして、警察と一緒にいる裏染天馬と出会う。男子大学生が閉館後の図書館内で殺害された事件らしいけど、試験中にこんなことをしているの？山田風太郎の『人間臨終図巻』で撲殺された被害者は、なんとなんと、二つの奇妙なダイニングメッセージを残していた…。



『カラフル』森 絵都（文春文庫）

「おめでとうございます！ 抽選にあたりました！」 生前の罪により輪廻のサイクルからはずされたぼくの魂が天使業界の抽選にあたり、再挑戦のチャンスを得た。自殺を図った中学三年生の少年、小林真の体にホームステイし、自分の罪を思い出さなければならないのだ。ガイド役の天使のプラプラによると、父親は利己的で母親は不倫しており、兄の満は無神経な意地悪男らしい。学校に行ってみると友達がいなかったらしい真に話しかけてくるのは変なチビ女だけ。絵を描くのが好きだった真は美術室に通いつめていた。ぼくが真として過ごすうちに、しだいに家族やクラスメイトとの距離が変わっていく。モノクロームだった周囲のイメージが、様々な色で満ちてくる—。

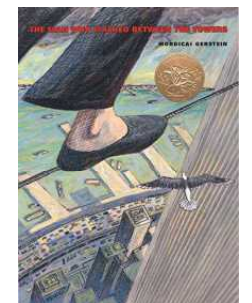


『目で見る数字』山出 高士、岡部 敬史（東京書籍）

ある日ふと「ハリセンボンって本当に針千本？」と思ったのです。そう思うと「千手観音像の手は本当に千本？」とか「一寸法師の一寸てどのくらい？」など、数に関する素朴な疑問がどんどん湧き上がってきます。

この本は、こんな数に関する疑問や不思議を写真に撮ってみたい面白いのでは—という発想からスタートしました。

【その他の本】



どの本も（図書館の本も）借りられますので、この機会にたくさん読んでくださいね♪